

発表職場	研究テーマ	研究結果
リハビリテーション科	<p>「ダイナミックフラミンゴ療法により、片脚立位保持時間は向上するのか」</p> <p>～バランス機能向上に対し、より効果的な運動療法を探る。転倒予防を目指して～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・週2回以上のダイナミックフラミンゴ療法により、バランス機能の指標である「片脚立位保持時間の向上」を図ることができる。 ・効果が高い訓練方法は、③同側上肢片手支持による片脚立位法である。 
看護部 A病棟	ハンドソープ手浴後の酢水による手指清拭の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ソープで手浴した後、酢水で清拭した方が、細菌数を減らすことができる。 ・手浴後に酢水で清拭した方が、匂い、皮膚乾燥・湿潤などの皮膚の状態も良くなった。
看護部 C病棟	乾燥・口臭の強い患者の口腔ケアの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・重曹による口腔清拭はイソジン液より汚染度スコアが下がり効果があった。 ・重曹による口腔ケアで口臭が軽減した。
介護部 C・D病棟共同	排泄ケア業務(オムツ交換方法)の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・朝9時のオムツ交換で長時間パッドを使用し、昼食直後のおむつ交換をなくして、午後2時にしたがトラブルはなく、オムツ交換の効率化が図れ、誤嚥リスクを減らすことにつながった。 ・午後10時に長時間パッドを使用することで午前2時30分のおむつ交換をなくすことができ、熟眠中に中途覚醒させるリスクを減らせた。

*ダイナミックフラミンゴ療法とは、1分間の片脚立ちを1日3回実施する物です。効果として、

① 大腿骨近位部の骨密度の改善、②転倒予防効果があると言われています。

*研究発表会には院内各職種から76名が参加し、研究成果を今後活かしていくことを確認しました。

